



【家庭数配付】

札幌市立大倉山小学校
ほけんだより No.9
2024.12.9 発行

保護者の方へ

水ぼうそうについてのお知らせ

現在校内で水痘（水ぼうそう）にり患したという報告が増えてきています。症状は、はじめは虫刺されのような赤い発疹ができ、その後水疱になります。水痘にかかると「すべての発疹がかさぶたになるまでは出席停止」となります。（医師の診断を受けた場合に「病欠」ではなく「出席停止」とすることができます。）

水痘は潜伏期間が2週間と長く、回復するまでの期間が人によって異なるため、学級閉鎖等の措置をとるのが難しい状況です。学校ではり患が疑われる児童については早退の対応をとらせていただき、換気や手洗い・うがいの励行など基本的な感染対策を講じているところです。

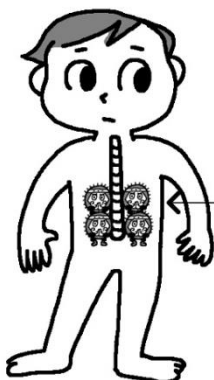
予防接種を打っていると比較的症状が軽く済むことが多いようですが、そのために発疹の数が少なく気付きにくいこともあるようです。初期症状が頭痛や倦怠感など、風邪かな？と思うようなケースもよく聞かれます。日頃の健康観察に加えて、お子さんが体調不良を訴えた際には体に発疹や水疱ができていないか注意してみてくださいようお願いいたします。

水痘はどうやってうつるの？

咳や鼻水などのしぶきによる空気感染・飛沫感染があります。その他には、水疱の中にいるウイルスで接触感染もします。

水痘が治った
後も…

水痘が治った後も、このウイルスは体内にすみつきます。免疫力が落ちたときには、帯状疱疹の原因にもなります。



水痘・带状疱疹ウイルスは、知覚神経節に潜んでいることが多いです。知覚神経節は、体の痛みなどを感じる神経のことで、皮膚の場所ごとに働く神経が決まっています。带状疱疹があらわれる場所は、この知覚神経節のどこに水痘・带状疱疹ウイルスが潜むかによって違ってきます。

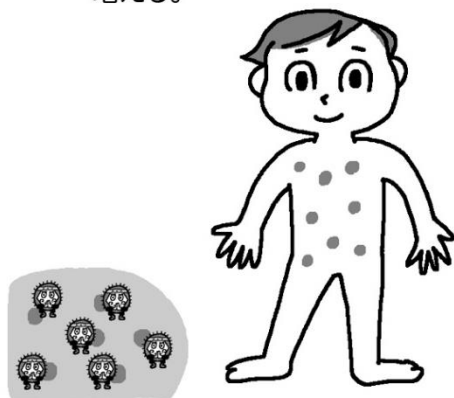
水痘の治療について

水痘（みずぼうそう）を治療する薬もあります。みずぼうそうにかかったら、早めに医療機関を受診しましょう。「アシクロビル」「バラシクロビル」という薬が有効です。なお、学校保健安全法ではすべての発疹がかさぶたになるまで出席停止となります。

水痘が治るまで

水痘にかかった場合、医師の診察のもと、すべての発疹がかさぶたになるまでは登校できないことになっています。以下では、水痘の発症から治癒までを簡単に説明します。

- ①** 「虫さされかな？」程度のぶつぶつができる。初めは痒くないが、徐々に痒くなり、数がどんどん増える。



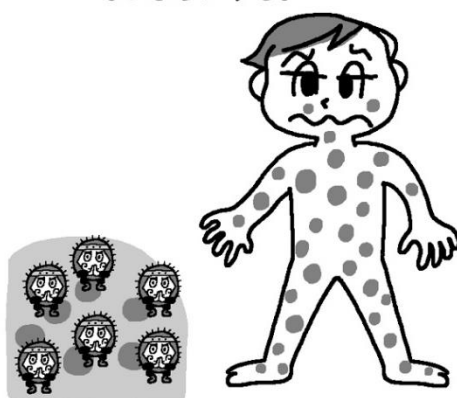
ぶつぶつの様子◎はじめは虫さされかな？という程度のちいさいぶつぶつ。

- ②** 次の日になると、さらに痒みが増す。ここでかくと、かいたところからバイキンが入るおそれがある。



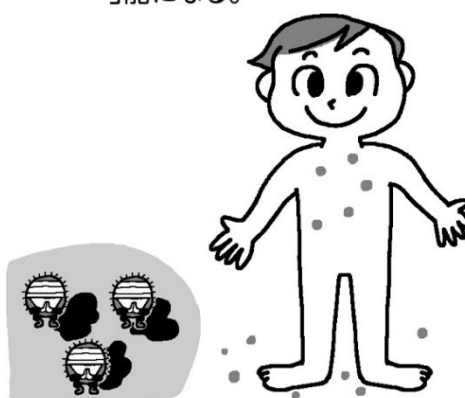
ぶつぶつの様子◎大きくなって水ぶくれになる。熱が出ることもある。

- ③** 4～5日たつと、初めにできたぶつぶつはかさぶたになる。痒みはあるが、かさぶたをはがさないようにする。



ぶつぶつの様子◎できたばかりのぶつぶつと、かさぶたのぶつぶつが両方。

- ④** 1週間すぎると、かさぶたが自然にとれてくる。これが治った証拠で、医師の診察後、登校が可能になる。



ぶつぶつの様子◎ぶつぶつが治ってもウイルスは体内に生涯潜伏する。